



地域子ども教室

～未来を担う子どもたちのために、地域・家庭・学校が一つとなった取り組み～

のびのびが足りない。人とのきずなが足りない。

そんな子どもたちのために、安心して集え、いきいきできる居場所づくりが、いま求められています。家庭も、学校も、地域全体が協力しあい、未来を担う子どもたちを育む、その機会や場をつくっていくため、平成17年度に市内7校区で実施している地域子ども教室の様子をご紹介します。



地域子ども教室とは…



◆ どうしてはじまったの？

少子化やテレビゲームの普及などにより、今の子どもたちは学年の違う子どもや地域の人と接する機会が少なくなっています。

「地域子ども教室」は、子どもたちが放課後などに学年の違う子と一緒に遊んだり、地域の人々と交流できる機会を設け、社会全体で子どもを育む環境を充実させ、地域の教育力の再生をめざします。

◆ だれがやるの？

小・中学生を対象に、地域の大人の方（高齢者、退職教員、PTA・愛護班関係者、スポーツ団体関係者など、子どもの体験活動に関心がある方）が子どもたちの活動を見守ったり、一緒に遊んだりして交流を図ります。

◆ いつやるの？

放課後や土曜・日曜・祝日、また、夏休みなどの長期休業日に開催します。

◆ どこでやるの？

例えば、学校の余裕教室や体育館、運動場、また、公民館など、人が集まりやすく、子どもたちが安全で安心して活動できるところです。

◆ どのように？

地域の大人たちの積極的な協力を得て、グラウンドゴルフ・卓球・バスケットボールなどのスポーツ活動や、料理教室、英会話、楽器演奏、季節の行事・野外活動など、体験活動や交流活動を行っています。

楠っ子クラブ

楠っ子クラブは、楠河小学校の児童を対象として、週1回放課後に開催しています。地域の指導員の協力で、学校や家庭ではなかなか体験できない活動を実施しています。



特に昔の遊び ▲懐かしいプチゴマ廻し

などは、指導員でも昔懐かしく思えますが、子どもたちにとっては新鮮に感じようです。当初は恥ずかしい様子の子どもたちでしたが、最近では積極的に参加し、確実に成長する子どもたちの姿はとてすばらしいです。保護者にも良い理解を得ており、今後も幅広い活動をめざしています。

大町公民館チャレンジ英会話教室

大町公民館チャレンジ英会話教室では、テキストやゲーム遊び、絵本の中から自然に英会話を学ぶことを目的に活動しています。



学年ごとにクラスをわけ、それぞれに応じた

▲Merry Christmas!～Christmas Party～

カリキュラムで指導しており、外国人講師との交流も月1回程度行っています。昨年12月4日の大町公民館文化祭では、これまでの学習の成果を発表しました。

子どもたちは元気のよいあいさつから始まり、楽しく意欲的に英会話に親しんでいます。